

電話連絡 オ368号

中央本部が「千葉再建」を公言!

日刊 動労千葉

79.2.19

No38

国鉄動力車労働組合

千葉地方本部

千葉市要町二一九(動力車会館)
(鉄電)二五八〇九(公衆)四七三二七二〇七

四つの闘争路線を基礎に、四〇〇の強固な 団結で動労の大改革を一層進めよう!

地本は2.10地本臨時大会方針を全体化するため、さまざまの取り組みをしてきたが、2月16日、**オ九回支部代表者会議**を開催し、この間の取り組みの総括と、臨大方針の四つの闘争路線をさらに全体化させるための支部間交流オルグや、地本組織、教宣、交渉各部長会議をはじめとするとり組みについて確認した。

一時間もたたないうちに、
一部削除...の電話!!
デタラメ株闘運管、私物化の極致!!

思わず
本音が!!

この支部代が申
催されている最中
に中央本部は、遂
に公的文書に「千
葉地本の再建」を
公言する、内容も
形式も全くデタラ
メな電話連絡オ368
号(下記参照)を
発出してきた。
これは、まさに
東スロック組織部
長会議における城
石組織部長の「千
葉地本再建」にむけ
て団結ガンバロ!
口につく、組織運
営ルールを無視し
た極めて一方的・
デタラメな電話連
絡であると同時に、革マルとそれに追
いつく一部反動分子の本音を吐露し
たものであると言わなければならない。
この「電話連絡オ368号」を見る限り
では、2月14日開催されたオ21回中央
執行委員会が「千葉地本の再建」にむけ
て全力投球することを万場一致確認
したということになる。

電話連絡第368号 1979年2月16日 **組織部**

電話連絡第360号に対する千葉地本の態度と本部の見解

中央本部は、2月13日電話連絡360号をもって、千葉地本の第32回臨時大会強行に対する本部見解と5項目にわたる指示をおこなったが、2月15日17時に至るも千葉地本から何等の連絡もなく、中央本部として千葉地本に問い合わせたところ千葉地本は次のように回答してきた。

- (1) 電話連絡360号の指示については、千葉地本としては全く考慮に入れていない。
- (2) 千葉地本組織第26、27号が解明されない限り、一切本部の指令、指示には応じない。
- (3) 千葉地本組織第26、27号の解明が先決であり、解決されない限り本部の指令、指示は一方的であると判断している。

以上の回答にも端的に千葉地本の意志、態度が明確であり、単一組織の地方機関として取るべき態度とは到底理解しえない。

したがって、今日、千葉問題の状況は、電話連絡第362号で明らかなように、きわめて憂慮すべき事態として認識せざるをえない。

*** 中央本部は、第21回中央執行委員会(2月14日)において、千葉地本の再建、千葉1400名組合員はもとより動労48000組合員の利益と組織強化に向けて全力投球することを万場一致確認した。千葉地本の再建に向けて全組合員、各級機関の最大の努力と協力を要請する。**

1時間後に、なぜか『全面削除』された部分。本部内にいかなるいきさつがあったのか...!? だが文字を消しても本音は残る。

この電話連絡オ368号のデタラメさにか、一時間もたたないうちに、一部削除...の電話!!
この電話連絡オ368号のデタラメさにか、一時間もたたないうちに、一部削除...の電話!!
この電話連絡オ368号のデタラメさにか、一時間もたたないうちに、一部削除...の電話!!
この電話連絡オ368号のデタラメさにか、一時間もたたないうちに、一部削除...の電話!!

しかし、オ21回中執決定は、電話連絡オ362号(2月14日)でも明らかかなように、全く違うことを決定したのである。

や怒りを越えてナサケなくなってくる。まさか「勝手に出した発だから、勝手にとり下げてもよい」という事でもないだろうが...。一部分子の動労私物化セクト的引きまわしは、ここまで来ている。
ゆれゆれは、今こそ声を大にして、動労四万七千の総決起を訴え、彼ら革マル分子を動労内から一掃する大改革運動を強力に展開することを訴えるものである。